

STAGE+を楽しむ(46)(HP 収載)

—ヘルムート・ヴァルヒャを聴く(3)—

1. 始めに

前報(45)に引き続き、STAGE+のヘルムート・ヴァルヒャの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ヘルムート・ヴァルヒャのアルバム演奏を選びました。

.S.バッハ：トッカータとフーガ BWV565、前奏曲とフーガ BWV534 他

ヘルムート・ヴァルヒャ (オルガン)



ヨハン・セバスティアン・バッハ トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

ヨハン・セバスティアン・バッハ 前奏曲とフーガ ヘ短調 BWV 534

第1曲: 前奏曲

第2曲: フーガ

ヨハン・セバスティアン・バッハ 幻想曲とフーガ ト短調 BWV 542

第1曲: 幻想曲

第2曲: フーガ

ヨハン・セバスティアン・バッハ

トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV 564

第1曲: トッカータ

第2曲: アダージョ

第3曲: フーガ

ヨハン・セバスティアン・バッハ トリオ・ソナタ 第1番 変ホ長調 BWV525

収録曲には前報(44)あるいは前報(45)と重複するものもあり、重複していないものは、前奏曲とフーガ ヘ短調 BWV 534 と幻想曲とフーガ ト短調 BWV 542 です。

重複していないものの演奏は、ヴァルヒャらしく、構成のしっかりした表現であり、これら 2 曲の壮大な表情を緻密に描いています。音質も他の曲と同様、収録年代を感じさせないフレッシュな音を聴かせてくれます。

重複しているものは、演奏も音質も前報(44)あるいは前報(45)のものと区別がつきませんでしたので、おそらくマスターはおなじものと思われます。

以上